

第4回

丸森地区河川防災ステーション利活用検討委員会

日 時：令和6年7月18日（木）

13：30～

場 所：丸森町役場 302会議室

次 第

1 開 会

2 委員紹介

3 あいさつ

4 議事

(1) 検討経過について（資料1-1）

(2) 今後のスケジュールについて（資料1-2）

(3) 平面図について（資料2-1）

(4) 基本設計について（資料2-2）

(5) その他

阿武隈川丸森地区かわまちづくり（資料3）

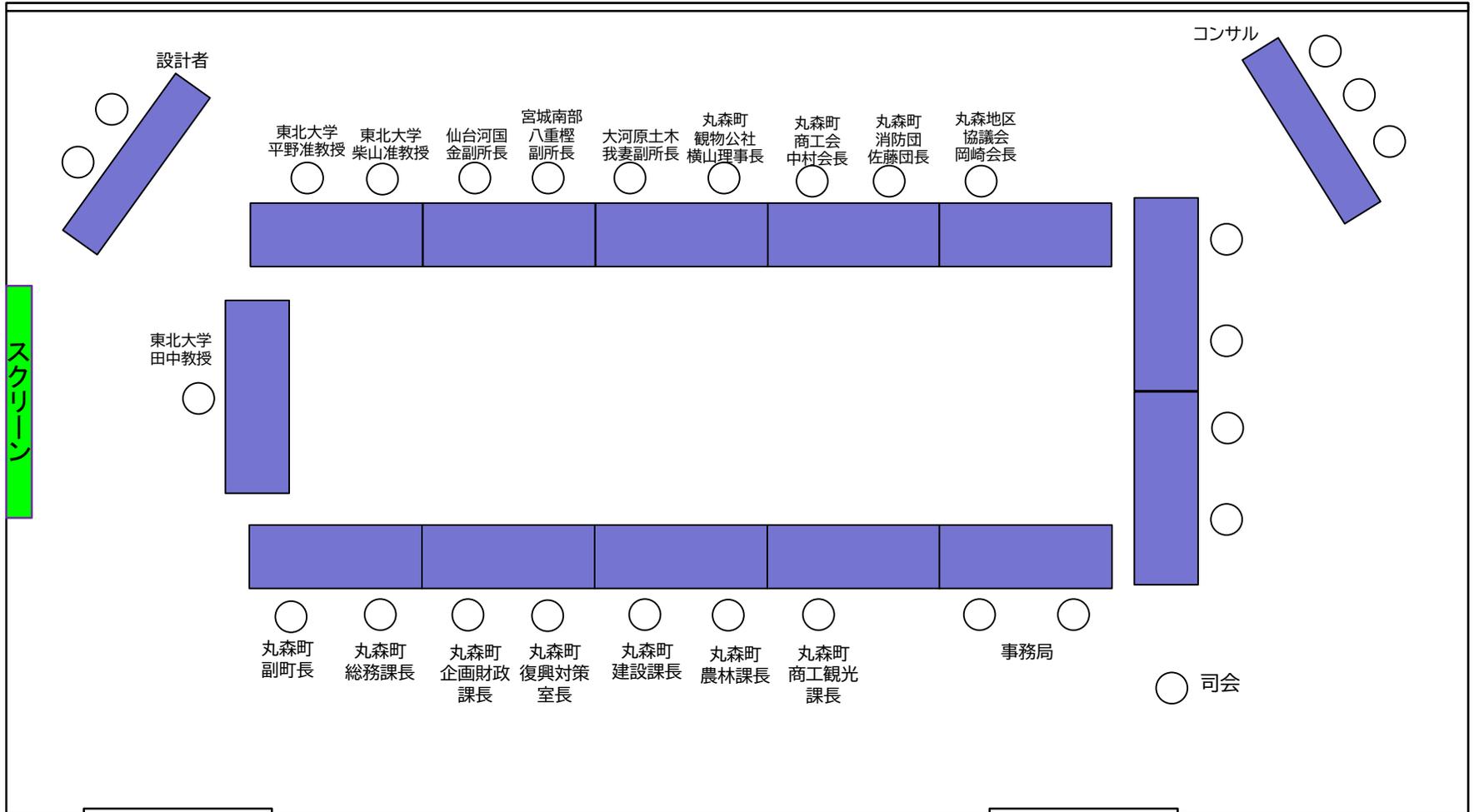
6 閉 会

丸森地区河川防災ステーション利活用検討委員会（令和6年度）

団体名	所属等	氏名	備考
東北大学	教養教育院 総長特命教授	田中 仁	
東北大学	災害科学国際研究所 准教授	平野 勝也	
東北大学	災害科学国際研究所 准教授	柴山 明寛	
国土交通省東北地方整備局	仙台河川国道事務所副所長	金 真一郎	
国土交通省東北地方整備局	宮城南部復興事務所副所長	八重樫 博男	R 6～
宮城県	大河原土木事務所副所長	我妻 賢一	R 6～
丸森町観光物産振興公社	理事長	横山 博昭	
丸森町商工会	会長	中村 次男	R 6～
丸森町消防団	団長	佐藤 隆	
丸森地区協議会	会長	岡崎 俊範	
丸森町役場	副町長	佐々木 秀之	
〃	総務課長	大内 一郎	
〃	企画財政課長	長門 修	
〃	建設課長	八巻 一浩	
〃	農林課長	引地 誠	
〃	商工観光課長	大内 重幸	

丸森地区河川防災ステーション利活用検討委員会 配席図

会場:丸森町役場 3階 302会議室



入口

第4回丸森地区河川防災ステーション 利活用検討委員会

資料1-1

令和6年7月18日（木）

（仮称）丸森町水防センター基本設計について（検討経過）

総務課

■ 検討経過

(令和2年度)

- ①令和元年東日本台風災害からの復旧・復興を目指し、新たな防災拠点整備を要望
- ②仙台河川国道事務所の助言を受け、河川防災ステーションの検討を開始
- ③河川防災ステーション整備計画の登録（水管理・国土保全局長） 令和3年3月18日

(令和3年度)

- ①丸森地区河川防災ステーションの整備に関する確認書（仙台河川国道事務所長） 令和3年5月12日
- ②丸森地区河川防災ステーション整備・利活用検討委員会設置（丸森町・仙台河川国道事務所）
令和3年11月16日、令和4年1月17日、3月24日
- ③丸森地区河川防災ステーション整備・利活用に関する説明会 令和4年2月17日

(令和4年度)

- ①丸森地区河川防災ステーション利活用検討委員会設置（丸森町） 令和4年6月29日、11月22日
- ②丸森地区河川防災ステーション利活用検討部会設置（丸森町）
令和4年7月20日、8月22日、9月22日、10月14日、令和5年1月30日

(令和5年度)

- ①丸森地区河川防災ステーション利活用検討委員会（丸森町） 令和5年7月31日
- ② " 検討部会（丸森町） 令和5年7月14日、10月2日、12月25日、令和6年2月2日、3月15日
- ③令和5年11月 （仮称）丸森町水防センター基本構想・基本の計画 策定
- ④住民説明会の開催 令和5年11月22日

■ 基本理念 (コンセプト)

災害時の防災拠点としての機能とともに、平常時には、町内の観光拠点と連携した町のゲートウェイ（町内周遊拠点）となる、地域交流、憩いの場とします。他の施設と差別化を図り、次のキーワードに関連する利活用のアイデアを実現できる拠点を目指します。

キーワード

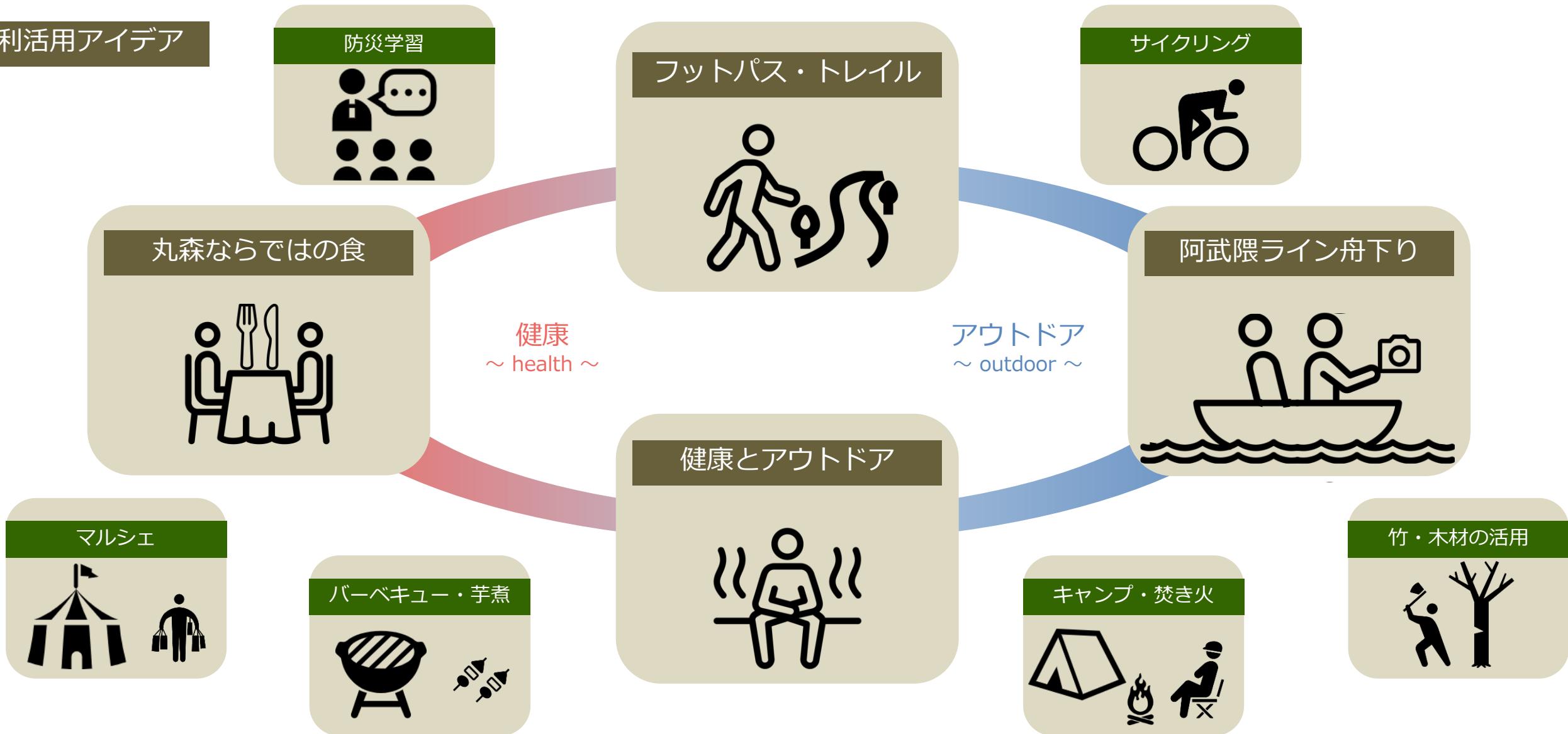
健康 ~ health

&

アウトドア ~ outdoor

訪れた人の健康増進に寄与するような野外アクティビティ等、丸森の豊かな自然を活かした利活用を展開する

利活用アイデア



■ 平常時の利用イメージ

芝生広場

公園・緑地、イベント会場、スポーツ広場としての利用

水防センター・観光交流拠点

- ・ 防災学習の場、観光案内、飲食・物販スペース、阿武隈ライン舟下り、かわみなとフットパス、川風トレイル、サイクリング等の拠点として整備
- ・ 敷地内にバス停を設置し、公共交通で来訪を可能
- ・ 民間事業者による事業展開エリア

川の駅

河川敷公園としての利用

イベント広場

マルシェや軽トラ市等を行えるイベント広場

ポケットパーク

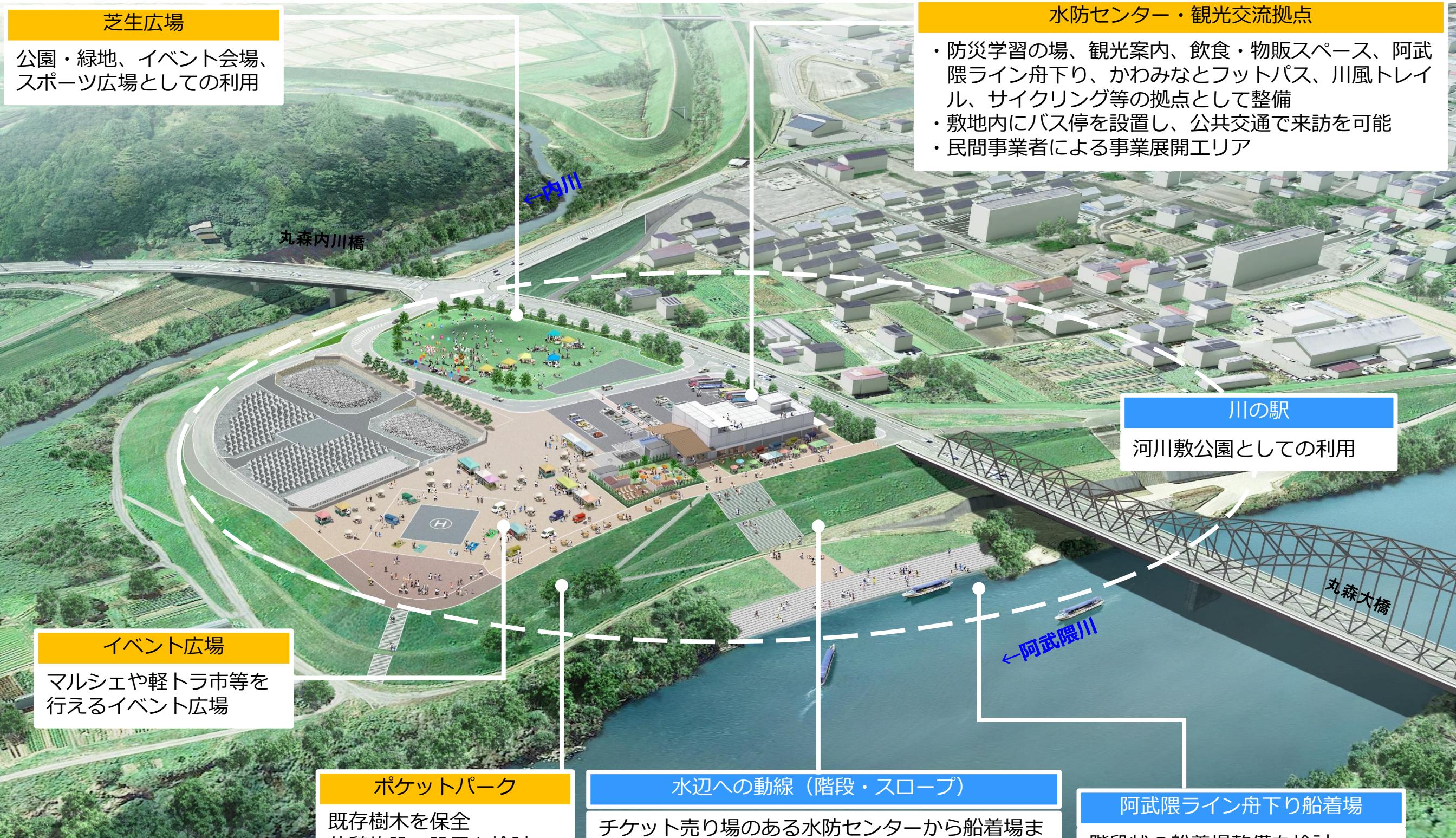
既存樹木を保全
休憩施設の設置を検討

水辺への動線（階段・スロープ）

チケット売り場のある水防センターから船着場まで、階段・バリアフリー対応のスロープを整備

阿武隈ライン舟下り船着場

階段状の船着場整備を検討

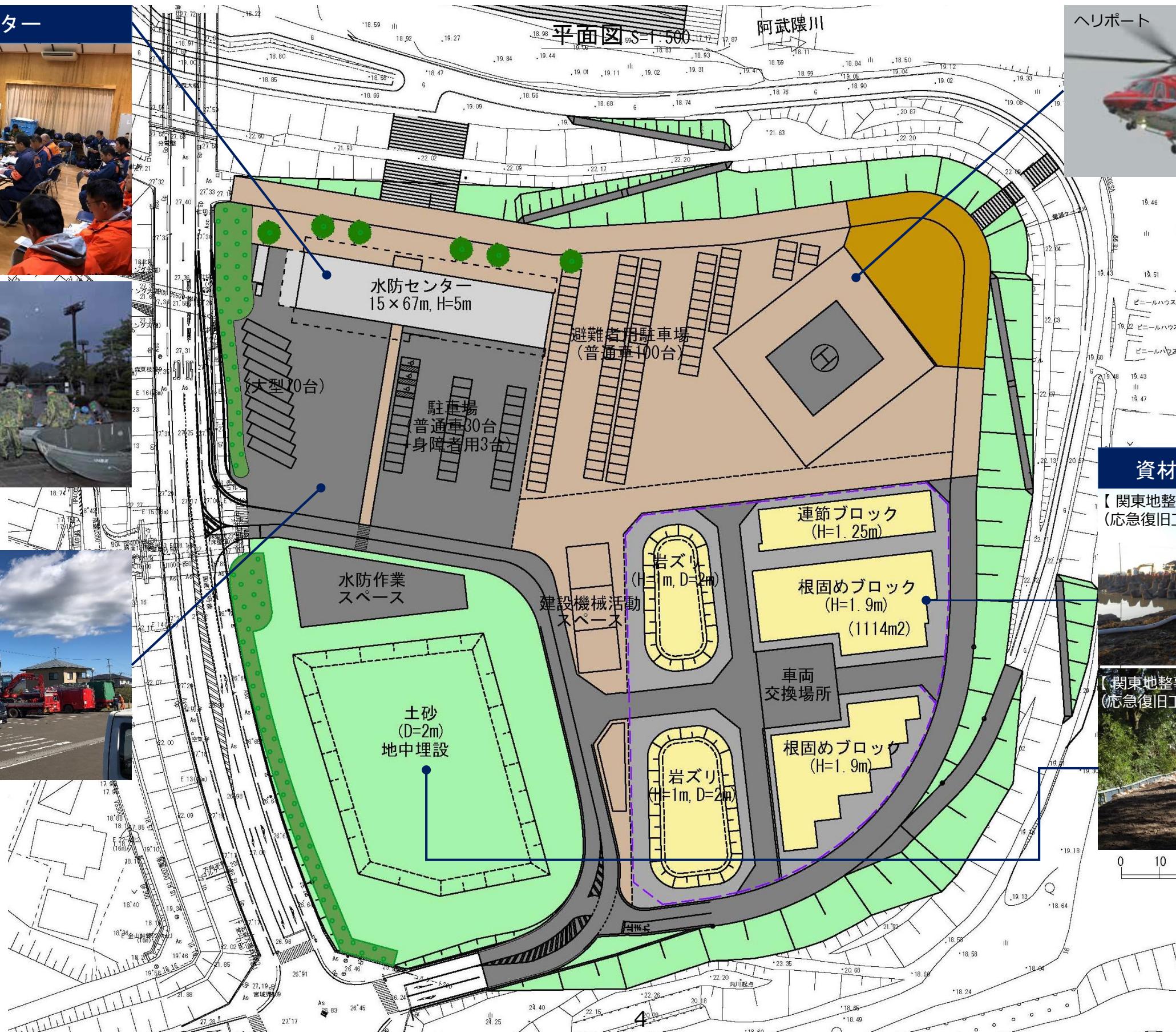


■ 災害時の利用イメージ



■ 施設配置イメージ

水防センター



資材・作業ヤード

【関東地整事例】根固めブロック (応急復旧工事箇所)



【関東地整事例】土砂 (応急復旧工事箇所)



■ (仮称) 丸森町水防センター設計者の選定

1 設計者を選定するプロポーザルを実施

(審査委員会)

役職	氏名	専門分野	所属組織・団体等
委員長	佃 悠	建築計画	東北大学大学院工学研究科 都市・建築専攻 准教授
副委員長	平野 勝也	土木景観	東北大学災害科学国際研究所 災害人文社会研究部門 空間デザイン戦略研究分野 准教授
委員	藤野 高志	建築デザイン	株式会社 生物建築舎 主宰 東北大学大学院工学研究科 都市・建築専攻 准教授
委員	柴山 明寛	防災	東北大学災害科学国際研究所 災害人文社会研究部門 災害文化アーカイブ研究分野 准教授
委員	佐々木 秀之	建築行政	丸森町 副町長

2 1次審査 (令和6年1月29日)

21者から応募者があり、提出された提案内容を審査し、5者を選定。



3 2次審査 (令和6年2月16日)

2次審査(プレゼンテーション及びヒアリング)を公開で実施。



審査結果

提案者名	備考
PHa+石森設計共同体 代表取締役 柿木久美	受託候補者
NHA・中央復建・上條福島設計共同体 代表取締役 橋本尚樹	次点者

4 設計者の決定 (令和6年2月21日)

PHa+石森設計共同体 (宮城県)

代表 株式会社 PERSIMMON HILLS architects

(業務体制)

(株)PERSIMMON HILLS architects (大阪府)

(株)石森建築設計事務所 (宮城県)

合同会社 平岩構造計画 (東京都)

有限会社コモド設備計画 (東京都)

(株)イー・エー・ユー (東京都)

■ 検討部会、ヒアリングの実施

(令和5年度)

①丸森地区河川防災ステーション利活用検討部会（丸森町） 12月25日、令和6年2月2日、3月15日



(令和6年度)

①丸森地区河川防災ステーション利活用検討部会（丸森町） 4月18日、5月8日、5月22日

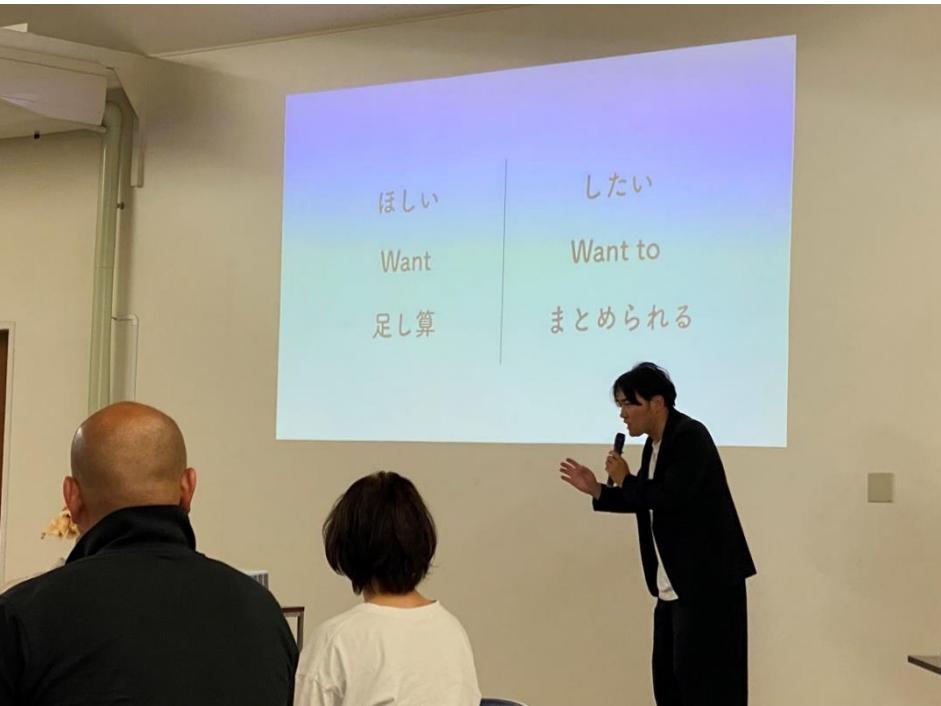


このほか、町内の関係者（観光、防災等）にヒアリングを実施した。（約50人）

■ 住民ワークショップの実施

(令和6年度)

② (仮称) 丸森町水防センターに関する住民ワークショップ (丸森まちづくりセンター) 5月29日



(ワークショップ参加者48人)

■ 利活用の具体例（フットパス・トレイル）

- 丸森町を徒歩により広域に周遊し、町の名所や史跡、拠点をつなぐトレイルルート「川風トレイル構想」が提案されました。
- 阿武隈川を挟んだ町全域の周遊、さらには沿岸のみちのく潮風トレイルへの接続を目指しています。
- このうち、**かわまちづくりは阿武隈川沿い（丸森橋～丸森大橋付近）にて展開**します。このほか町の資源を面的に捉え活用してまいります。
- 「健康」と「アウトドア」の利活用アイデアは全域で展開し、町内観光施設への周遊につながるにぎわいづくりを進めます。



■ 整備スケジュール（概要）

事業		年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
防災拠点の整備									
設計	防災拠点(造成、資材)	国	予備設計	詳細設計					
	水防センター	町		基本構想・計画	基本設計・実施設計				
工事	防災拠点(造成、資材)	国		用地確保	盛土工		舗装・排水工 資材配置	河川防災ステーション 利用開始	
	水防センター	町					水防センター建設	水防センター 利用開始	
水防センター等の運営体制検討				運営体制、主体の確立	運営主体の細部調整				
周辺利活用の検討・整備(かわまちづくり)				計画検討	計画策定	登録及び 予算確保	設計	整備工事	周辺施設 利用開始

※ 国 : 国土交通省 東北地方整備局 仙台河川国道事務所

※ 町 : 宮城県丸森町

